

秋もすっかり深まり、冬が近づいてきています。皆さんはいかがお過ごしでしょうか。最近のO2ファームは、徐々に仕事のペースがゆっくりになってきて、すっかり農閑期。今は、後片付けや冬支度が中心です。ちょっとご紹介しますね。

稲刈りが終わると同時に、ワラを乾かして集める作業や牧草の種を蒔く作業が続きましたが、ようやくそれも一段落。今年とはにかく雨に泣かされましたが、どうにか牛のエサとなるたくさんのワラロールができました。牧草のほうは、すでにかわいい芽をたくさん出しています。寒い冬の間には育ち、初夏になれば収穫です。

お次は菜園。三男が生まれてからはなかなか管理ができずにいましたが、夫と食欲旺盛の息子たちを満足させるには、そうも言ってはいられません。タマネギの苗を植えたり、青物野菜の種をまいたり。そして阿蘇名物タカナの種も蒔きました。来年の春に収穫してタカナ漬けにします。ピリッとした辛味が何ともいえないタカナ漬け。ご飯がいけるんです。うまくできたら、また皆さんにお届けしますね。

それから、オス牛が1頭生まれました。我が家では息子ばかり生まれましたが、しばらく牛小屋ではメス牛ばかりが生まれていました。でもセリ市で高く売れるのは去勢したオス牛。待望のオスです。去勢すれば肉がやわらかくなる上、メス牛より体が大きくなるので高く売れる、というわけです。以前、去勢手術に立ち合ったことのある息子たち。オス牛が生まれたよ、と教えると、「またキ タマとると?」と聞いてきました。「そうよ」と答えると、しばらく考えた後「(僕たち)牛じゃなくてよかったね!」ですって!もうすぐ3歳になる息子たち。色々思うところがあるようです(笑)。

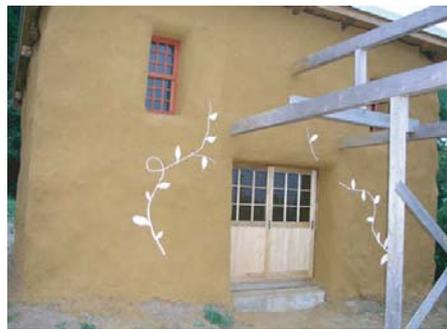


先週、女性農業者の会が村の企画で視察に行くことになり、私も三男を連れて参加してきました。熊本県の三角(みすみ)という場所にあるこの農園では、みかんを栽培している他、食育をテーマに様々なプログラムを用意しています。海が見える高台に作られたひろーい調理場には、お手製の石釜が2つ並んでいました。赤々と火が燃える石釜に、参加者がこねたりのばしたりしたパン

やピザを入れると、なんとものの1分くらいでこんがりおいしく焼けるのです。そのおいしいこと。私の背中によだれをたらして一部始終を見ている讃太郎に、お母さんだけごめんね、と言いながら食べた量と種類といたら！「どんなに食育が大事と言われても、教科書で教えるのでは効果なし。農作業をするだけでもダメ。やっぱり、食べて“おいしい”という感動がないことには、子供も大人も変わらない」と農園主の宮田さん。農産物の加工や体験受け入れは私の兼ねてからの夢でもあるのですが、おおいに刺激を受けて帰ってきました。



もう一つ、私（えり）の活動をご紹介します。農繁期中は農作業の報告だけで紙面がいっぱいになってしまうのですが、やっと少し農業以外のことを書くゆとりもできましたので。阿蘇に移り住んで以来、「身近な資源を見直そう！」ということを目指してNPOの活動に取り組んでいます。私たちが以前留学していたドイツでは、軽油の代わりにナタネ油からできた燃料で車が走り、ワラや間伐材で暖をとっていました。農家が「自分たちは食べ物だけでなく、エネルギーも作っているんだ」と胸を張っていたのが忘れられません。いつかはそんなことができたらいいな、と言う思いでNPOを設立しました。阿蘇でたくさんある身近な資源といえば、何といてもススキの草原。草原は、ススキを利用することで維持されます。ところが畜産農家が高齢化したり後継者がいなくなったりすることで、阿蘇の草原は減りつつあります。そこで、ススキをいろんな方法で使おうと知恵を絞っています。一昨年はススキで家を建てました。ススキの家は、夏涼しくて冬暖かいすぐれもの。ちょっとした離れや別荘にはもってこいです。そして去年から今年にかけて、ススキでつくった紙を地元小学校の卒業証書に使っています。それからススキで発電する事業にも取り組んでいます。牛のエサとして使うだけでは、阿蘇の広大な草原を維持していくことはできそうにありませんから、NPOらしい柔軟な発想で、ススキをじゃんじゃん使う取り組みを続けていきたいと思います。ご関心がおありの方は、ぜひお問い合わせ下さい。その他の活動は、ホームページで紹介しています(<http://kbf.sub.jp/>)。「こんな使い方もできるのでは？」というアイデアも募集中です。



さあ、いよいよ冬の到来です。薪ストーブの煙突掃除をし、掘りごたつを設置。築120年の我が家は、夏はエアコン要らずで快適ですが、冬の寒さはとても九州とは思えません。また冬が来てしまう...と少し憂鬱な今日この頃ですが、コタツで食べるみかんや薪ストーブで煮込むおでんやゼンザイもなかなかの魅力。薪もススキと同じ「再生可能な資源」です。一昨シーズンに割って乾燥させておいたものを今年使います。原油高の今年は、例年にも増して薪のありがたさが身にしみそうです。どうぞ皆さま、風邪などひかれませぬようお気をつけ下さい。